

2019 (R01) シカ年度 エゾシカ捕獲事業計画案 (隣接地域)

※第3期知床半島エゾシカ管理計画の管理目標：エゾシカの採食圧を軽減することにより、生物多様性を保全するとともに、地域住民とエゾシカの軋轢緩和を図る。

1) 経緯と方針

<経緯>

- ・北海道森林管理局では、2013 (H25) シカ年度から遺産地域に隣接する宇登呂地区での捕獲事業を開始。2014 (H26) シカ年度から遠音別地区、真鯉地区において捕獲事業を開始。2017 (H29) シカ年度からは5年ぶりに春荊古丹地区での捕獲を実施
- ・わなによる捕獲は、囲いわな、箱わなに加え、2018 (H30) シカ年度からくくりわなによる捕獲を実施
- ・囲いわなでの捕獲数が年々減少しており、理由としては警戒心の増加、局所的な生息数の減少が原因として考えられる
- ・地形条件等により囲いわな設置が難しい箇所においては、銃を用いた捕獲を2014 (H26) シカ年度から実施

<方針>

- ・希少猛禽類が高密度に生息していることから、捕獲方法はわなによる捕獲を主体とする
- ・囲いわなは継続して実施するが、箇所は検討中
- ・箱わなは継続して実施
- ・移転が容易であるくくりわなによる捕獲は継続して実施
- ・銃を用いた捕獲は巻き狩りを予定。地区は検討中
- ・捕獲目標頭数は前年度実績を勘案して作成

2) 捕獲事業内容案

<全体>

- ・既存囲いわな (12月下旬～3月中旬)
ウトロ東、弁財崎、春荊古丹では実施予定。他は検討中
- ・既存箱わな (12月下旬～3月中旬)
2地区10基
- ・くくりわな (12月下旬～3月中旬)
4地区で実施予定

- ・巻き狩り（地区及び時期未定）

2-1) 宇登呂地区

- ・既存囲いわな 2箇所（ウトロ東、弁財崎）
- ・くくりわな（ウトロ東囲いわな周辺）

捕獲目標頭数：30 頭

2-2) 遠音別地区

- ・既存囲いわな（箇所検討中）
- ・くくりわな（箇所検討中）

捕獲目標頭数：20 頭

2-3) 真鯉地区

- ・既存箱わな 7基（金山川）

捕獲目標頭数：10 頭

2-4) 春苧古丹地区

- ・既存囲いわな 1箇所（春苧古丹 1）
- ・既存箱わな 3基（春苧古丹）
- ・くくりわな 春苧古丹 1 囲いわな周辺

捕獲目標頭数：25 頭